

平成26年度室蘭開発建設部総合評価審査委員会（第1回） 審議概要

開催日及び場所	平成26年 8月 5日（火） 室蘭開発建設部1階大会議室	
委員	<p>かわむら し ま 川村 志麻（委員、室蘭工業大学 准教授）</p> <p>きむら かつとし 木村 克俊（委員長、室蘭工業大学 教授）</p> <p>したむら みつひろ 下夕村 光弘（委員、苫小牧工業高等専門学校 教授）</p> <p>すがた のりゆき 菅田 紀之（委員長代理、室蘭工業大学 准教授）</p> <p>ひょうどう い く お 俵 藤 亥久生（委員長代理、日本工学院北海道専門学校 副校長）</p> <p style="text-align: right;">（五十音順）</p>	
議 事 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>（1） 総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果及び予定について</p> <p>（2） 個別審議</p> <p>（3） その他</p> <p>4 閉会</p>	
議 事	議	意 見 等
<p>（1） 総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果及び予定について</p> <p>（2） 個別審議</p> <p><工事事後審査></p> <p>①苫小牧港東港区岸壁－1.2m袖護岸その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次点のQ-1者のタイワイヤーの均等な緊張力確保の工夫の提案④が評価されなかった理由は何か？ ・国際コンテナが工事箇所隣接しているとのことですが、なぜ鋼管矢板打込時の騒音、振動対策を評価項目に設定したのか？ <p>②苫小牧港西港区航路－1.5m浚渫工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浚渫量の計測は、発生した土量を計測するのか？ ・提案項目における配点で、浚渫における過掘対策についてが10点、浮標灯における施工区域明示を行わない場合の浚渫作業における一般船舶への安全確保についてが20点となっているが、一般船舶への安全確保に重みをおいた理由は？ 		<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が改良土の品質確保であったこと及び具体的内容に欠けていたため、評価しなかった。 ・鋼管矢板打込作業で生じる騒音や振動が国際コンテナ埠頭での荷役作業に与える影響が大きいと考え、評価項目に設定した。 ・浚渫箇所の出来形を計測します。 ・工事箇所が苫小牧港における最も重要な航路であり、一般船舶の安全確保が極めて重要と判断したため。

<p>③日高自動車道日高町清島西改良工事</p> <p>特になし</p> <p><業務事後審査></p> <p>④鵠川・沙流川水辺現地調査（水域・構造物）業務</p> <p>・ヒアリングはしているのか？</p> <p>⑤勇払東部（二期）地区厚真ダム外耐震性能照査業務</p> <p>プロポーザル方式で発注した理由は？</p> <p>（3）その他</p> <p>特になし</p>	<p>・ヒアリングはしていません。</p> <p>幅広な提案を求めたため、プロポーザル方式を選定した。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	
<p>なし</p>	

※評価の具体にかかる内容については掲載していません。